

2015年(平成27年)9月9日 水曜日

県内国会議員

自民課題解決へ結束強調 民主政策議論の不在批判

自民党総裁選で安倍晋三首相(総裁)の無投票再選が決まり、本県関係の自民党議員からは結束して山積する課題に当たることが強調

自民党総裁選で安倍晋三首相(総裁)の無投票再選が決まり、本県関係の自民党議員からは結束して山積する課題に当たることが強調

自民党の梶山弘志(衆院茨城4区)は、国会開会中の現状から無投票となったことについて一定の理解を示しながら「安倍総理と共に、懸案である経済再生と地方創生を継続して進めなければならぬ」と強調した。

同党の上月良祐(参院茨城)は少子化対策や地方創生、社会

までと違い、安倍総理の顔色をつかがい、党内で自由に意見が言えなくなっている。独裁政権になってしまつては、危機感ではないか」と危機感を示し、無投票を批判した。

同党の藤田幸久(参院茨城)は安全保障関連法案に反対するデモ活動などに触れながら「国会の外で意思表示と行動を起こしてい

を変えたい」と意気込んだ。(高岡健作)